

この道が、夢を運ぶ。

E32高知自動車道
大豊IC～南国IC
開通30周年



高知自動車道 開通30周年	…	1
高知自動車開通による整備効果		
高知自動車道30年のあゆみ	…	7
時間短縮による県間移動人数の増加	…	8
高速バスによる県間移動の支援	…	9
高知県の青果が全国の食卓へ	…	10
シュガートマト流通の支援	…	11
高知県水産物の流通拡大が可能に	…	12
流通利便性向上による地域経済の支援	…	13
工業団地等製造業の生産性向上へ寄与	…	14
時間圏域の拡大による企業経営への貢献	…	15
県外観光客が増加し、消費額増加に寄与	…	16
伝統の「よさこい祭り」への参加を後押し	…	17
人気のホエールウォッチングの利用者数が増加	…	18
修学・教育旅行の誘致を支援	…	19
スポーツを通じた地域間交流を促進	…	20
「道の駅」利用促進への貢献	…	21
災害時における早期啓開・機能確保	…	22
並行する国道の代替路としての機能を発揮	…	23
命をつなぐ高知自動車道	…	24

高知自動車道 開通30周年

昭和62年10月8日に高知自動車道 大豊IC～南国ICが開通し、今年で30周年を迎えます！

主な出来事

- 1985 (S60). 3 松山自動車道 三島川之江-土居 開通 (四国で初めての高速道路開通)
- 1985 (S60). 6 大鳴門橋 開通
- 1987 (S62). 10 高知自動車道 大豊-南国 開通 (高知で初めての高速道路開通)
- 1988 (S63). 3 瀬戸中央自動車道 全然開通 (児島・坂出ルート完成)
- 1992 (H4). 1 高知自動車道 川之江JCT-大豊 開通 (高知自動車道と高松自動車道、松山自動車道が接続)
- 1992 (H4). 4 高松自動車道 高松西-普通寺、坂出-坂出JCT 開通 (本州・四国間が高速道路で直結)
- 1998 (H10). 3 高知自動車道 南国-伊野 開通
- 1998 (H10). 4 神戸淡路鳴門自動車道 全然開通 (神戸・鳴門ルート完成)
- 1999 (H11). 5 来島海峡大橋、多々羅大橋、新尾道大橋 開通 (尾道・今治ルート完成)
- 2000 (H12). 3 徳島自動車道 井川池田-川之江東JCT 開通 (エクスハイウェイ完成)
- 2001 (H13). 12 四国の高速道路にETC導入
- 2002 (H14). 7 高知自動車道 伊野-須崎東 開通
- 2003 (H15). 3 高松自動車道 全線開通
- 2005 (H17). 10 日本道路公団民営化により、NEXCO西日本発足
- 2006 (H18). 4 しまなみ海道 全線開通
- 2009 (H21). 3 高知自動車道と須崎道路が接続
- 2009 (H21). 12 高知自動車道 土佐スマートIC運用開始
- 2010 (H22). 6 無料化社会実験 (2011年6月まで) (四国地方対象区間) 松山自動車道 松山-大洲、大洲北只-西予宇和 高知自動車道 高知-須崎東
- 2011 (H23). 3 高知自動車道 須崎西-中土佐 開通(新直轄区間)
- 2012 (H23). 12 高知自動車道 中土佐-四万十町中央 開通(新直轄区間)
- 2015 (H27). 3 徳島自動車道 鳴門JCT-徳島 開通
- 2017 (H29). 10 高知自動車道 大豊-南国が開通して30周年

〈凡例〉 ■ 高速道路等(NEXCO西日本管理区間、各時点供用区間)
 ■ 新直轄高速道路等(国土交通省・県管理区間、各時点供用区間)
 ■ 本四連絡道路(JB本四高速管理区間、各時点供用区間)

高知県で初めての高速道路開通



(1987)

瀬戸大橋の開通で本州と四国が直結



(1992)

四国4県都を直結する「エクスハイウェイ」



(2000)

四国内の高速道路が京阪神と直結



(2006)

四国8の字ネットワークを目指して



(2017)

ロゴマークの紹介



高知県南国市の高知県立岡豊高校芸術コースの2年生が考案しました。見やすさを意識し、色や形を工夫。高知の豊かな自然や、夏の日差しの雰囲気が伝わるデザインになっています。

高知自動車道の変遷



高知自動車道 大豊IC～南国IC 明神トンネル工事中(1984年5月)



高知自動車道 大豊IC～南国IC 開通式(1987年10月)



高知自動車道 新宮IC～大豊IC 笹ヶ峰トンネル貫通式(1990年11月)



高知自動車道 新宮IC～大豊IC(刈屋橋) 4車線化工事中(2006年6月)

E32 E56 高知自動車道の概要

- 区 間：川之江JCT～須崎東IC
 - 延 長：91.9km
 - 変 遷
- 1987年10月 大豊IC - 南国IC開通
 1992年 1月 川之江JCT - 大豊IC開通
 ⇒ 高松自動車道、松山自動車道と接続
 1998年 3月 南国IC - 伊野IC開通
 2000年 3月 川之江東JCT開通
 ⇒ 徳島自動車道と接続
 ≪ エクスハイウェイの完成 ≫
 2002年 9月 伊野IC - 須崎東IC開通
 (2009年 3月 高知自動車道と須崎道路が接続)
 (2011年 3月 須崎西IC - 中土佐IC開通)
 (2012年12月 中土佐IC - 四万十町中央IC開通)
 ※:()内は国土交通省管理区間



開通から30年、交通量が着実に増加し、延べ1.6億台(2億人)にご利用頂きました

● 高知自動車道のこれまでの利用状況



● 高知自動車道開通による時間短縮便益

約5,300億円/30年

出典)NEXCO西日本調べ

○利用人数の算出方法

- ・対象区間：川之江JCT～須崎東IC
- ・対象期間：1987年10月開通～2017年6月(30年間)
- ・各年の年間利用台数(台)×平均乗車人数(センサス値)
- ・平均乗車人数はセンサス実施年から次回実施年までのセンサス値を適用
- ・大型車混入率を乗じて、乗用車と普通貨物の2車種で算出

○時間短縮便益の算出方法

- ・対象区間：川之江JCT～須崎東IC
- ・算定期間：1987年10月開通～2017年6月(30年間)
- ・所要時間算出区間：with・withoutともに川之江JCT～須崎東IC間
- ・NITASによる条件設定：2015年速度データ
- ・高速道路の年間利用台数(台)を対象

● 高知自動車の昔と今



1987年(大豊IC～南国IC開通時)



2017年(南国IC)

時間短縮による県間移動人数の増加

四国の高速道路開通による4県間の時間短縮

高速道路の整備により、四国内各県の県庁所在地間の移動にかかる時間は **最大100分程度短縮** されました。



2000年(川之江東JCT開通時)

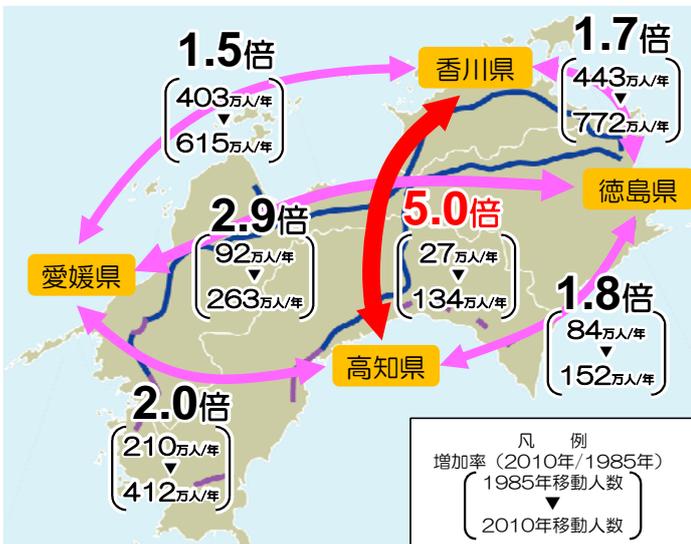


出典)国土交通省「昭和59年度旅行速度調査」、NEXCO西日本調べ

移動時間が短くなり、自動車移動する人が着実に増加しました

●自動車による各県間の移動人数

移動時間が短くなり、自動車で各県間を移動する人が **約1.5~5倍** に増えています。



出典)1985年、2010年道路交通センサスにおける乗用車ODより算出、国土交通省

●一般の方々が実感された高速道路の効果

自分が子供だった40年前は四国内を車で移動するのは「旅行」という大きなイベントごとと捉えていたが、今は「〇〇の大福を食べに行こう」と高速にのる気軽さに月日と発展を感じます。



40代女性 高知県在住



30代女性 高知県在住

実家まで、山道のカーブが多い道が多く、運転があまり得意では無いので、車で帰省するのは、苦手でしたが、高速道路が通り、時間も短縮でき運転しやすく、帰省するのも苦ではなくなった。

20歳を過ぎてから四国内に高速道路ができました。その後主人の転勤で四国を離れて20年、帰ってきたら四国内が狭く感じました。



50代女性 高知県在住

出典)NEXCO西日本調べ

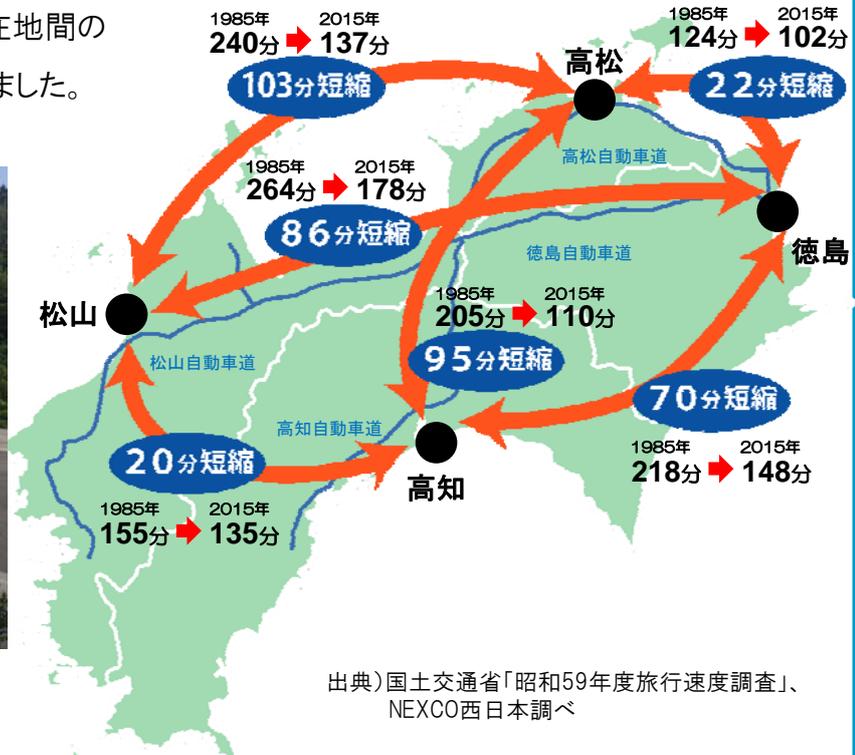
高速バスによる県間移動の支援

四国の高速道路開通による4県間の時間短縮

高速道路の整備により、四国内各県の県庁所在地間の移動にかかる時間は**最大100分程度短縮**されました。



2017年(高知IC)

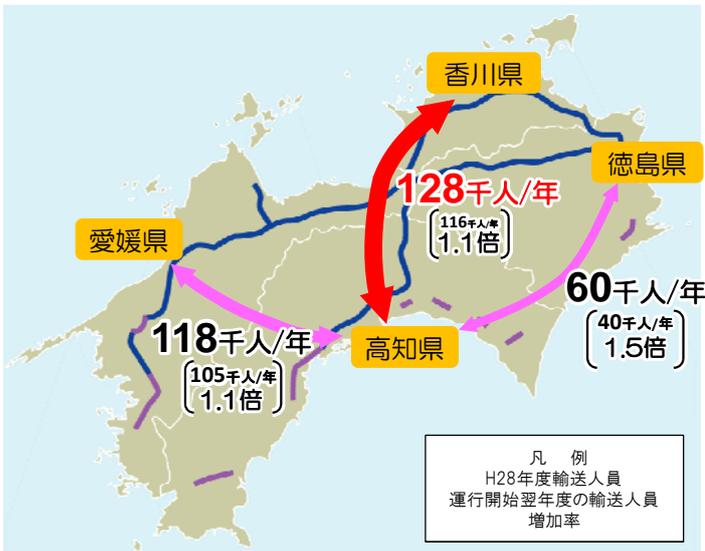


出典)国土交通省「昭和59年度旅行速度調査」、NEXCO西日本調べ

移動時間が短くなり、県間の高速バスで移動する人が増加しました

●バスによる各県間の移動人数

高知～高松間を高速バスで移動する人は、年間約13万人(平成28年度)です。また、高知を発着する四国内の高速バスは、**これまでに約550万人の方に利用**されました。



凡例
 H28年度輸送人員
 運行開始翌年度の輸送人員
 増加率
 ※高知～松山：H14年度→H28年度
 高知～高松：H5年度→H28年度
 高知～徳島：H14年度→H28年度
 出典)四国運輸局「四国における運輸の動き」
 平成9年度以前は高速バス運行会社提供資料より

●高速バス利用者数の推移

高速道路開通に伴う高速バスの運行開始後、高知を発着する**利用者数は約3倍に増加**しました。



高知道開通前も高知～高松のバス路線はありましたが、1日1往復夜行バスで片道6時間程度で運行していました。

ジェイアール四国バス(株)

高知県の青果が全国の食卓へ

高知自動車道が県外への青果物の流通を支援し、国内の食卓を支えています

高知県では、全国シェアの高い青果物がたくさんあります。県内の農協集出荷場(70箇所以上)から一元集荷された青果物の約90%は、トラックで高速道路を利用し県外へ輸送されています。

一元集荷基地を発着するトラック(11t)台数は、最盛期には1日70台出発しており、高知自動車道は全国の食卓を支える必要不可欠な役割を担っています。

●高知県内の青果物の流通体系：一元集荷



●全国シェアの高い青果物 凡例：品目【出荷量全国順位・シェア】

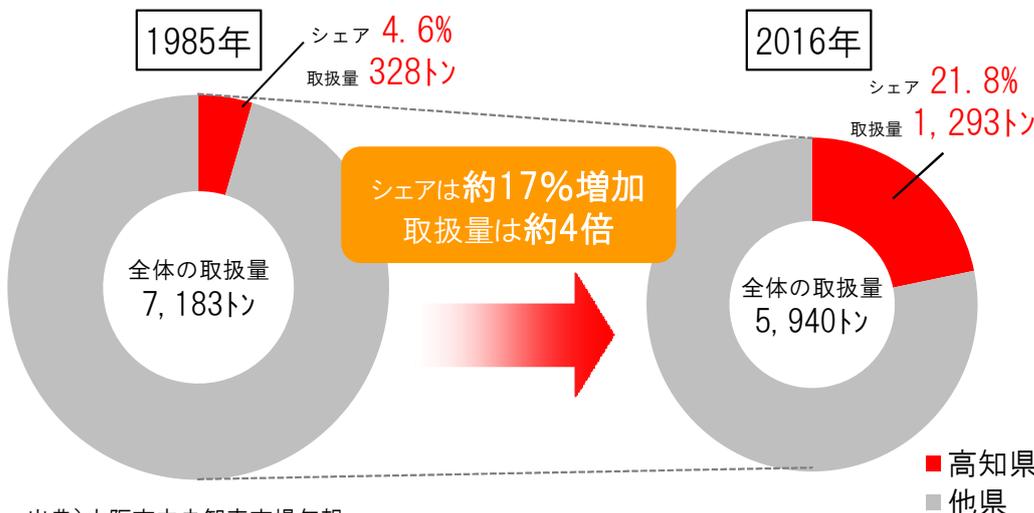


写真：高知県園芸農業協同組合連合会HP
 出典)高知県農業振興部「高知県の園芸(平成29年3月)」
 シェアは平成27年産のデータ、ただし「みょうが」は平成26年産

高知県産なすのシェアが拡大

瀬戸大橋開通、神戸淡路鳴門自動車道全線開通、エクスハイウェイ完成に伴い、大阪市中央卸売市場における高知県産なすの取扱量が増加傾向にあり、2016年にはシェアの約22%を占めるようになっています。高知自動車道が開通する前の1985年に比べて、取扱量は約4倍、高知県のシェアは約17%増加しています。

●高知県産なすの取り扱い



今は全線高速道路を利用していますが、高速道路を利用することで輸送時間が短縮し、ドライバーの負担も軽減されました。取引は、セリではない時間前の取引が増えていることもあり、到着時間が前倒しの要望が多い。高速道路ができて、時間的余裕ができたので対応できるようになりました。



農業サービス業者

シュガートマト流通の支援

日高村産シュガートマトは全国各地に輸送されています

日高村産シュガートマトは、東京・埼玉・横浜・大阪・愛知・福岡・広島・松山・高松へ、トラックで輸送されています。
 (京浜:60%、京阪神:15%、中四国:10%、その他:5%)

●シュガートマトの概要



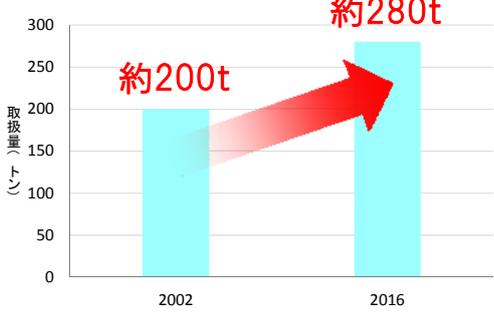
写真)日高村HP

シュガートマトとは、高糖度フルーツマトに分類される、糖度の高いフルーツマトです。

一般的なトマトは、糖度4~6度程度ですが、シュガートマトは糖度8度以上で、高知県日高村で誕生しました。

●日高村産トマトの取扱量

約40%増加



年	取扱量(トン)
2002	約200t
2016	約280t

出典)農業サービス業提供資料



日高村

高速道路が整備され、短時間での陸路で遠方への輸送が可能となり、出荷先が拡大しました。



JAコスモス

シュガートマトやオムライスが有名になり、高速道路が日高村をお手伝い

2014年に村おこしの一環で「日高村オムライス街道」を宣言し、村内の飲食店がそれぞれに趣向を凝らしたオムライスを考案し、提供を開始しました。シュガートマトの規格外品を加工したトマトソースを使用したオムライスが有名になり、**高速道路を利用して来店者数も増加**しています。

●日高村オムライス街道

オムライス街道のおいしい約束

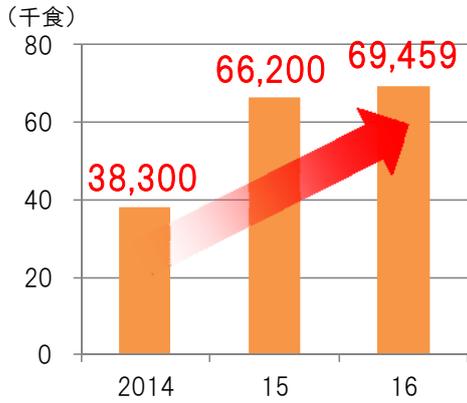
- その1、日高村特産高糖度トマト、シュガートマトを使います。
- その2、できるだけ地場の野菜を使います。
- その3、食べるみんなを笑顔にします。



出展)日高村HP

●オムライス販売食数

(千食)



年	販売食数(千食)
2014	38,300
15	66,200
16	69,459

出典)日高村ヒアリングを基に作成



写真)日高村HP

高速道路が、県外からのお客様を日高村に運んで来てくれていて、大型連休などは、県外ナンバーの車や観光客が沢山見られるようになりました。



日高村産業環境課

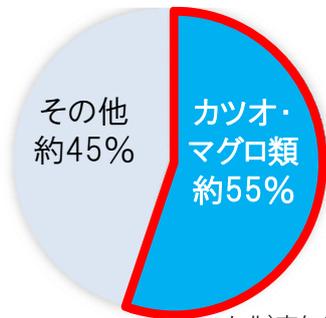
高知県水産物の流通拡大が可能に

高知県の水産業(カツオ・マグロ類)の概要

高知県は、黒潮が育む豊かな水産資源を有しています。

特に、伝統のカツオ・マグロ漁業は有名で、高知県の漁業生産量の約55%を占め重要な魚種となっています。

●平成27年 魚種別生産量(海面)



出典)高知県「行政要覧」



カツオの一本釣り

写真:黒潮町提供



市場

写真:高知県提供



カツオのたたき

写真:高知県提供

高知自動車道が“カツオ”の大阪市場への出荷を支援しています

高知自動車道が、陸揚げされた魚や高鮮度な加工食品の**全国への出荷や流通拡大を可能**にしています。

●鮮魚の流通経路



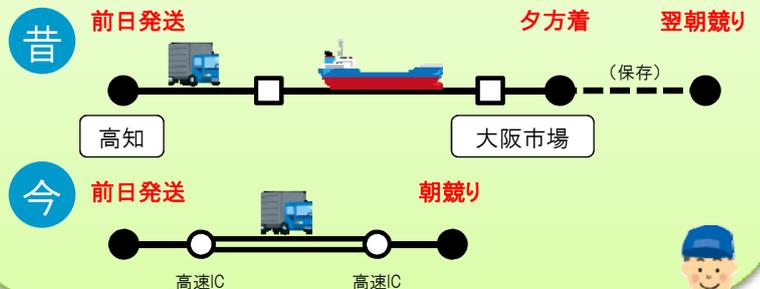
写真:丸中運送(株)提供



傷みやすい品物なので、高速道路がある場所では全て高速道路を利用してします。

輸送時間が短縮され、開通前は間に合わなかった場所でも、競りに間に合うようになりました。

例えば、今日発送して現地に夜着いて、朝競りに間に合うというようなことは30年前にはできなかったと思います。



関西圏への輸送時間が短縮したため、当町の高鮮度な鰹のたたき等の加工食品の流通拡大を進めています。



丸中運送(株)

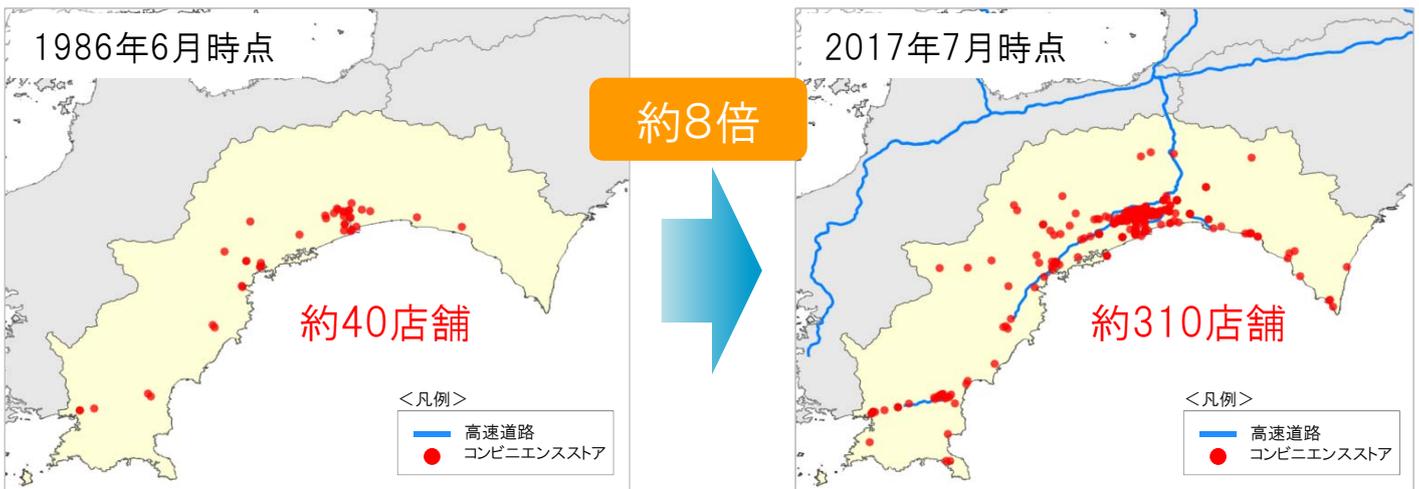
中土佐町役場 水産商工課

高知県のコンビニエンスストアの立地状況

高知県内のコンビニエンスストアは、高知自動車道沿線付近に多く立地しています。

高知県内のコンビニエンスストア店舗数は、高知自動車道開通前の1986年6月時点に対し2017年7月時点には**約8倍に増加**しています。

●高知県のコンビニエンスストア立地状況の推移



出典)タウンページ(1986.10および2017.7より)
 タウンページにおける分類が「コンビニエンスストア」に該当する店舗を表記

高速道路による流通の利便性が企業の新規出店を促進し地域経済を支援しています

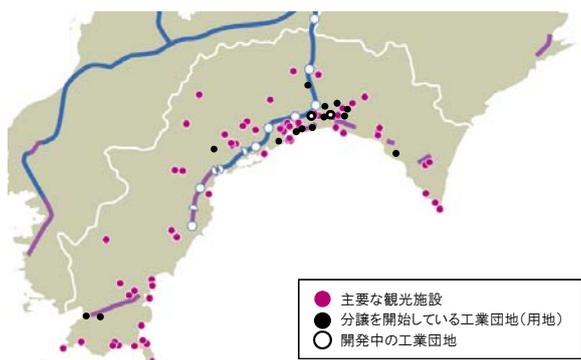
高知自動車道は、県外からの観光客数の増加に寄与し、さらに、トラックによる流通を可能にしたことが、小売業(コンビニエンスストア等)における県外からの新規出店を促しています。

高知自動車道の開通が、企業の新規出店を可能とし、**有効求人倍率の増加要因**の一つになっています。

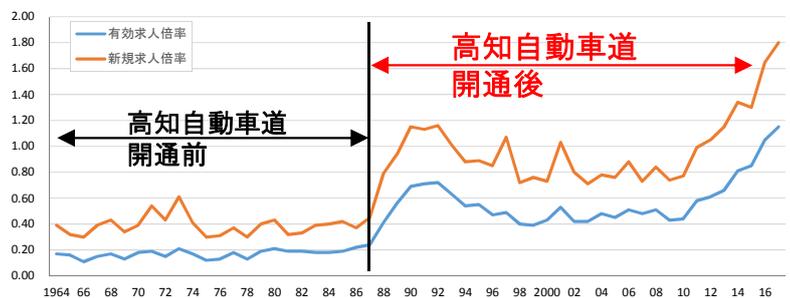
高速道路の貢献

- 自動車による移動時間の短縮
- 観光など県外交流機会の拡大
- 営業範囲、取引先の広域化

●高知県の工業団地・観光施設立地状況



●高知県の有効求人倍率の推移



高知商工会議所

高知自動車道は、移動時間の短縮等による効率化、企業誘致、観光客の増加等に寄与するなど企業戦略に影響を与え、今後の県勢発展のために不可欠なインフラで、さらなる延伸は沿線地域の希望です。

求人面で遠方からの応募も多少増加しています。



製造業社A

工業団地等製造業の生産性向上へ寄与

高知県の工業団地の概要

高知県の工業団地(用地)は、14箇所造成・分譲され、新たに2箇所で開発中です。
 そのうち、高知自動車道沿線の高知市、南国市に8箇所あります。

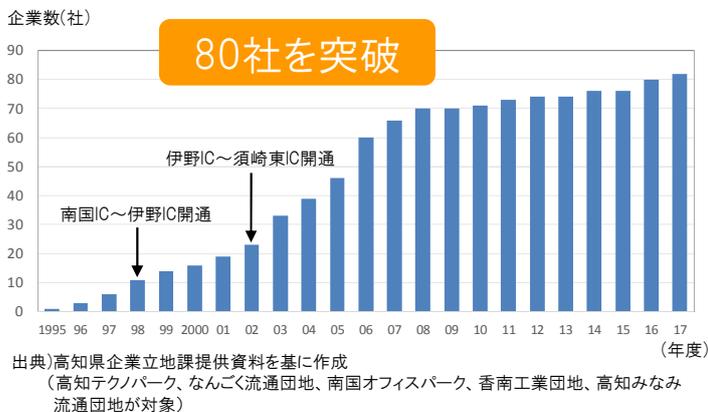
●高知県の工業団地立地状況



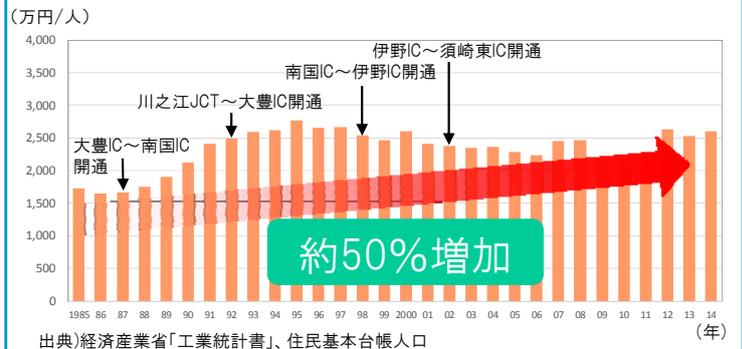
高知自動車道は、高知県の産業生産性向上へ寄与しています

主要工業団地における進出企業数は80社を超えました。
 高知県の製造品出荷額等(人口一人当たり)は、高知自動車道の開通後の伸びが著しく、その後景気の停滞などにより横ばい傾向が続いていましたが、高知自動車道開通前の1985年に対し2014年で約50%増加しています。
 高知自動車道は、**県外との流通に寄与し、地域経済を支えています。**

●主要工業団地における進出企業数



●人口一人当たり製造品出荷額等の推移



高速道路がないと企業誘致を行うためのツールがたりないという感じになります。

高知県 商工労働部 企業立地課

自動車を使って日帰りの出張が可能となり、宿泊費のコスト削減にもつながり、出張の頻度が増えた。徳島、松山、新居浜、四万十など四国内の顧客とのコミュニケーションが活発にできるようになった。



宇治電化学工業(株)

時間圏域の拡大による企業経営への貢献

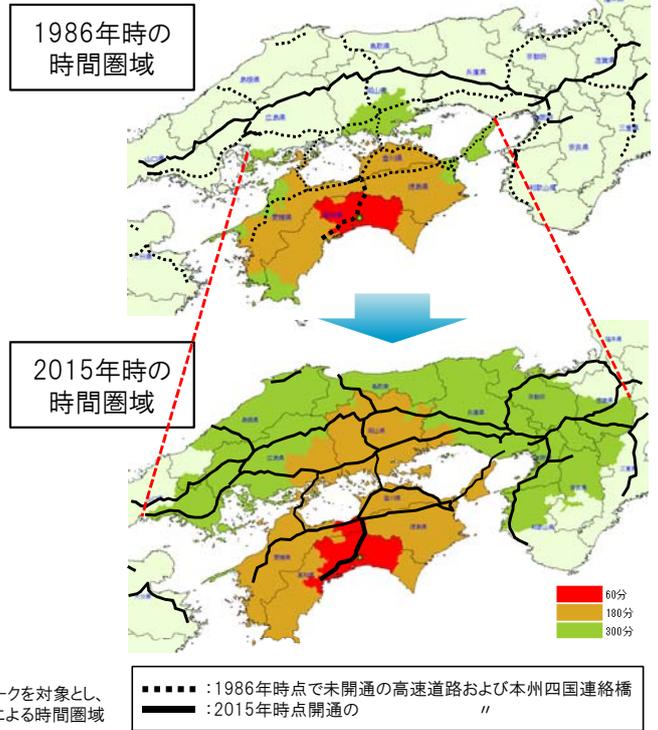
高速道路開通による時間圏域の拡大

高知自動車道をはじめ、高速道路ネットワークの形成により、**時間圏域が大幅に拡大**しました。



2017年(南国IC付近)

●南国IC付近を起点とした時間圏域



出典)NITASによる所要時間の算定結果
 1986年時と2015年時道路ネットワークを対象とし、
 南国ICを起点とした2015年時速度による時間圏域

移動時間が短くなり、企業経営の様々な面で貢献しています。

●経営状況の改善



とさでん交通(株)

高知自動車道を含む高速道路延伸により、各都市間の所要時間が短縮され高速バス路線数が年々増加した。また、それにより高速バス利用の定着化により経営状況が改善された。

●売上の増加

青汁は元々冷凍で配送していたが、高速道路の整備によりチルドで配送できるようになり、売上が飛躍的に増加しました。



ひまわり乳業(株)

●企業活動の効率化



高知新聞社

取材・営業活動などで移動時間が短縮、例えば高松市への取材(往復)などは高速道路利用で随分と効率的になっています。

●車両への負荷軽減

一般道进行より道路の状態が良く、車両への負荷が少ないため、車両を長く使用できます。



丸中運送(株)

●在庫のない経営方針への転換



宇治電化学工業(株)

在庫を持たない経営方針に合わせて納品ができるようになった。こちらも在庫を持つ必要がなくなったため、win-winになった。

●営業活動の効率化

高知、香川、愛媛に営業拠点があり、以前は泊まりで移動していたが、高速ができ日帰りで移動でき効率が悪くなった。



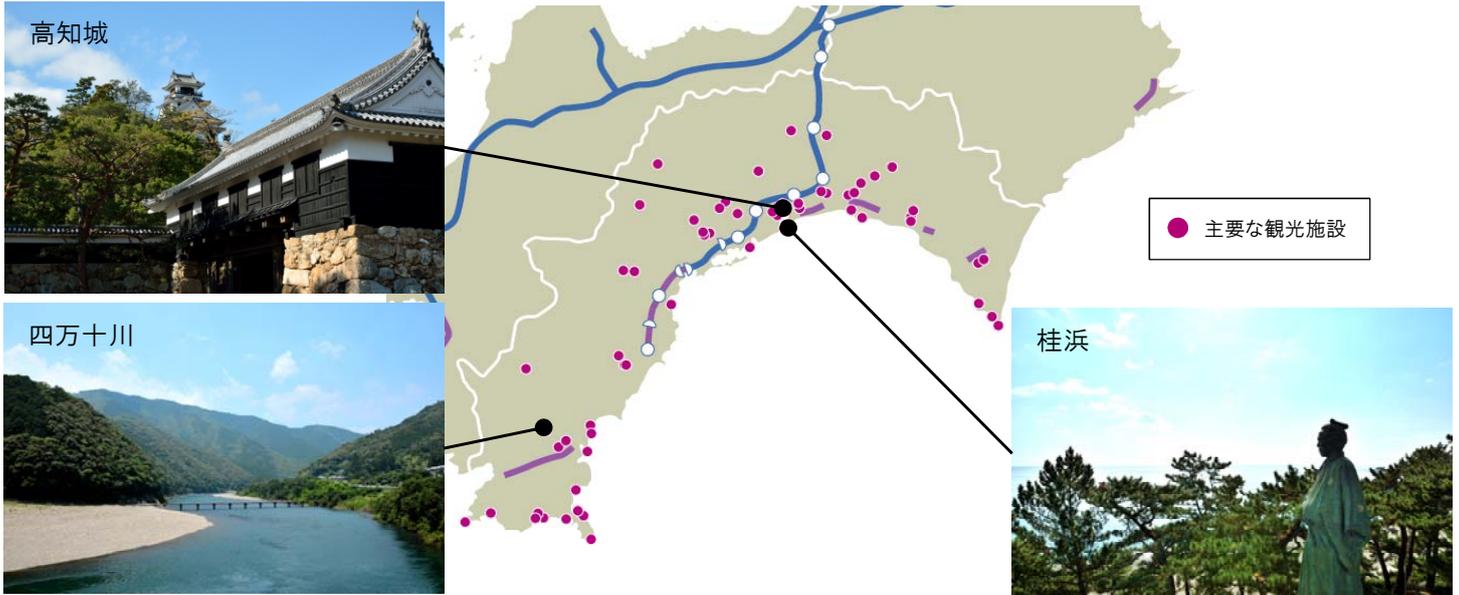
50代男性 高知県在住
 出典)NEXCO西日本調べ

県外観光客が増加し、消費額増加に寄与

魅力あふれる観光施設が高速道路沿線に存在

高知自動車道の沿線には、高知城や桂浜、四万十川をはじめ、歴史や自然の魅力にあふれる多数の観光施設があります。

●高知県内の主要な観光施設



高知自動車道が県外観光入込客数と観光消費額の増加に寄与

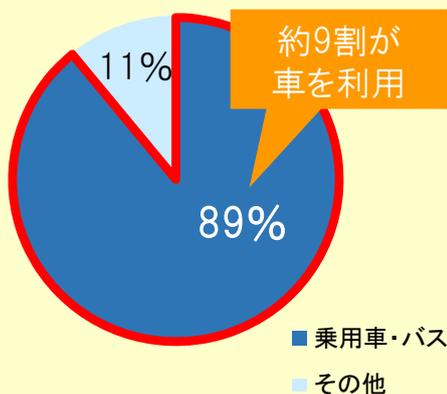
県内の観光施設を訪れる県外からの観光客は増加傾向にあり、その約9割が乗用車・バスを利用して観光施設に向かっています。さらに、県外観光客数の増加に伴って、観光消費額も増加しています。



高知道が開通してから、朝市や桂浜などの観光に行くようになりました。

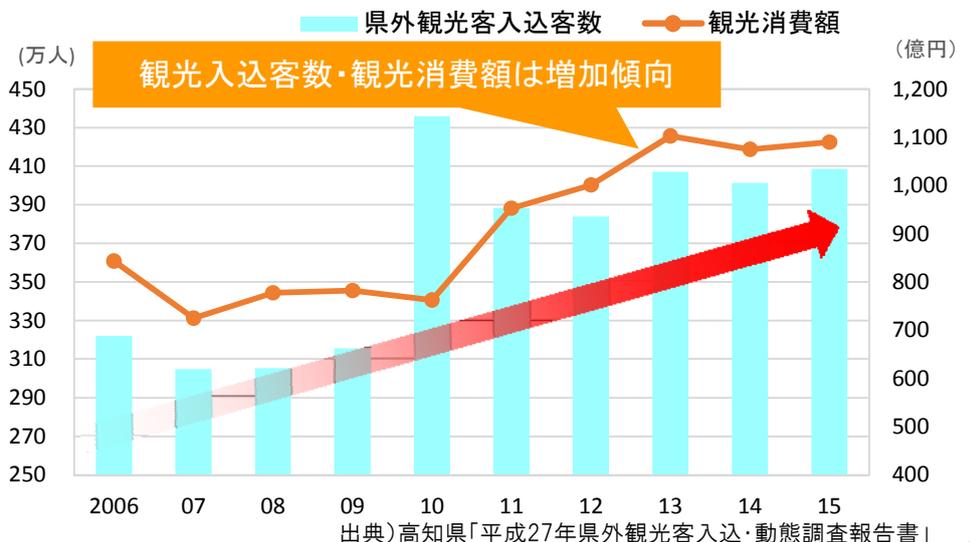
出典)NEXCO西日本調べ

●県外観光客の利用交通手段



出典)高知県「平成27年県外観光客入込・動態調査報告書」

●近年の県外観光客入込数と県外客の観光消費額の推移



伝統の「よさこい祭り」への参加を後押し

南国土佐を象徴する「よさこい祭り」

よさこい祭りは、毎年8月9日の前夜祭から、10・11日のよさこい鳴子踊りの本番、12日の後夜祭・よさこい全国大会と行われるお祭りです。例年、100万～120万人の観客がよさこい祭りに訪れます。高知市内16か所に競演場・演舞場があり、約200団体、1万8000人程の踊り子が街中を練り歩きます。よさこい祭りの経済波及効果は約85億円※ともされ、高知県で最も重要な観光資源であるとともに、南国土佐を象徴する祭りとなっています。



※よさこい祭振興会、高知商工会議所
 「2013よさこい祭りの経済波及効果調査報告書」

写真：高知商工会議所提供

県外チームが約7倍、よさこい祭りへの参加を後押し

1994年の県外チームの参加は9チームでしたが、近年は**約7倍**のおよそ60チームが踊り子として参加しています。県外チームは主にバスで高知県まで来ており、高知自動車道が**よさこい祭りへの参加を後押し**しています。



写真：高知商工会議所提供



30代男性 香川県在住

高知道を利用するようになって、よさこい祭りに気軽に行けるようになりました。

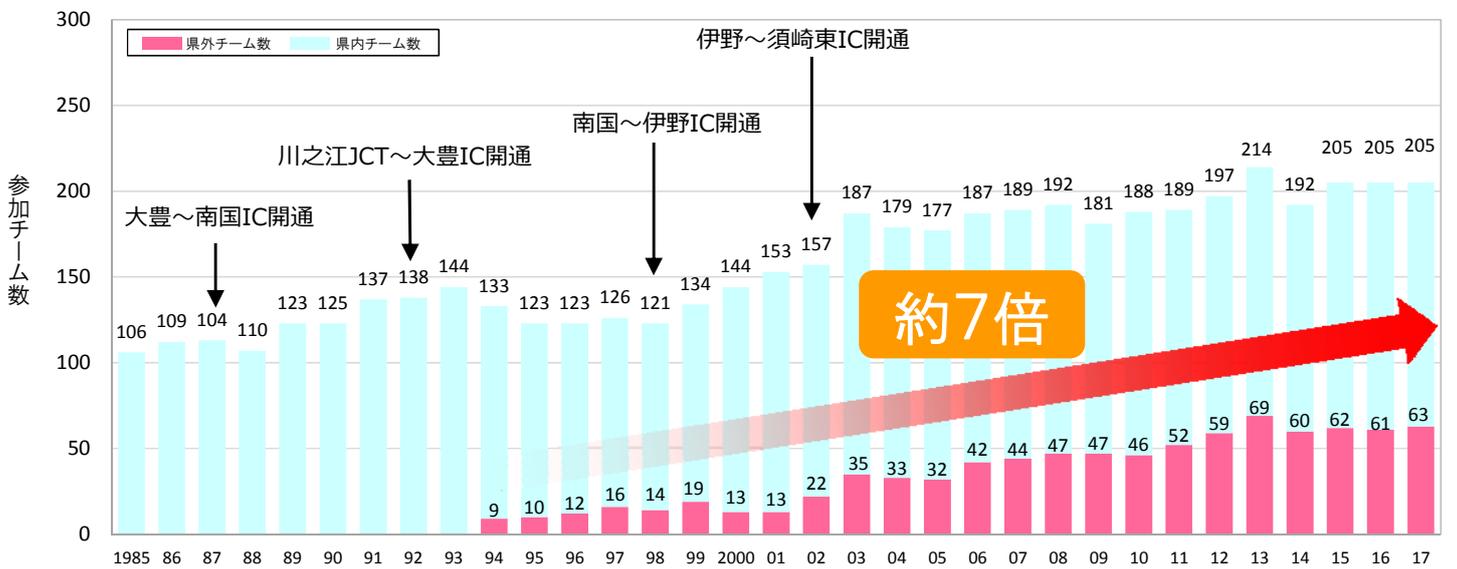
出典)NEXCO西日本調べ

県外から踊り子として参加するチームは、近畿・中国地方からの参加が多く、主にバスで高知県にやってきます。1チームの平均は100人ぐらいになるため、関東など遠方でもバスで来る方がいます。



高知商工会議所

よさこい祭りの踊り子参加チーム数の推移



出典)高知商工会議所資料 (93年以前の県外参加チームは不詳)

土佐湾のホエールウォッチング

高知県の土佐湾では、可愛いイルカたちの群れや、体長10mを超えるクジラたちなど、さまざまクジラの仲間が大海原を優雅に自由に泳ぎ回る姿をみることができます。



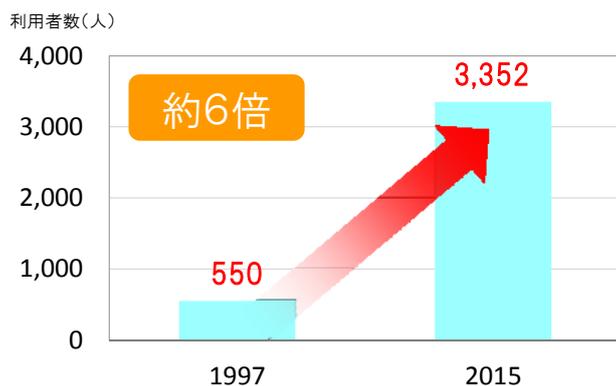
写真：宇佐ホエールウォッチング協会提供

宇佐ホエールウォッチングの利用者数が増加

宇佐ホエールウォッチングは、1997年(平成9年)から始まりました。

1997年の開業時に比べ、2015年では**利用者数が約6倍**になっています。また、中国地方や近畿地方など、**遠方の利用者が約7割**を占めています。

●施設の利用者数の変化



出典) 宇佐ホエールウォッチング協会ヒアリング結果および高知県「平成27年県外観光客入込・動態調査報告書」より作成



出典) 宇佐ホエールウォッチング協会ヒアリング結果より作成

徐々にお客様が増えはじめていますので、高知自動車道は役に立っています。高知自動車道ができて時間短縮したため、遠方のお客さまでも朝9時の出航便に間に合うようになり、日帰り客が増えました。



宇佐ホエールウォッチング協会

●神戸市～宇佐しおかぜ公園への所要時間



出典)NITAS算出結果

修学・教育旅行の誘致を支援

須崎市への修学・教育旅行

高知自動車道の延伸が契機の一つとして、須崎市では2012年(平成24年)から修学・教育旅行の誘致に本格的に取り組んでいます。須崎市では民泊体験、鯉のたたき作り体験、ドラゴンカヌー体験をはじめ、釣り、木工体験、ブルーベリー狩りなど多種多様な体験を行っています。



鯉のたたき作り体験



ドラゴンカヌー体験

写真：須崎市観光協会提供

高知自動車道が修学・教育旅行の誘致を支援

主に近畿地方の学校が、高速道路を利用し、須崎市へやってきます。

2012年から本格的に誘致に取り組み、**学校数で7倍、参加者数で約5倍**と増加傾向にあります。

バス移動が主となる修学・教育旅行では、**高知自動車道等の高速道路によるアクセスの利便性**が須崎市の修学・教育旅行の誘致活動を支援しています。

須崎市が目的地になるように様々な取り組みを始めましたが、それは高知自動車道が整備されてからのことです。高知自動車道の延伸で、須崎まで容易に来られるようになったことは、誘致活動を始めた要因の一つです。



須崎市観光協会

● 修学・教育旅行の県外からの受け入れ実績



● 近畿から須崎市への移動ルート例

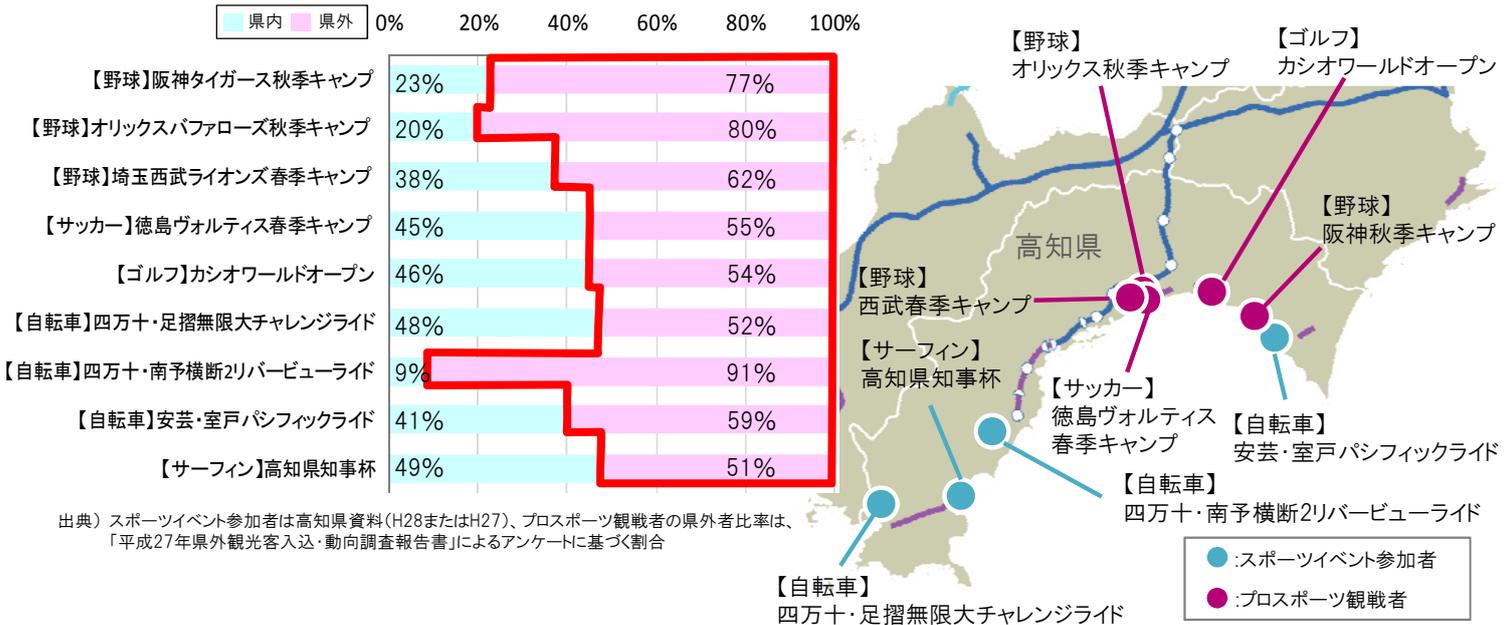


スポーツを通じた地域間交流を促進

高知県で行われるスポーツイベントに県外から多くの人が参加

高知県で行われる主なスポーツイベントでは、**県外から観戦・参加のために訪れる人の割合が5割を超え**、県内はもちろん県外からも多くの方が参加しています。

● 主なスポーツイベントの観戦者・参加者の発地内訳(県内・県外別)



高知自動車道の開通により、プロ野球キャンプやプロサッカー公式戦等の誘致、アマチュアや学生カテゴリーにおける遠征合宿や大会誘致も多数実施できています。四国4県のスポーツにおける交流という観点で、高速道路の貢献は大きいです。



スポーツイベントへの観戦・参加を後押し、地域間交流を促進

県外から訪れるプロスポーツ観戦者の**約9割が乗用車・バス**を利用するなど、高知自動車道はスポーツイベントの観戦・参加を後押し、地域間交流を促進しています。

● プロスポーツ観戦者の県外客の利用交通機関



出典) 高知県「平成27年県外観光客入込・動態調査報告書」

● 高知龍馬マラソンのエントリー数の推移



道の駅『南国風良里』の概要

道の駅『南国風良里』は1999年(平成11年)にオープンしました。高知自動車道 南国ICから500mの位置に立地しています。



出典)国土交通省国土地理院「国土電子Web」



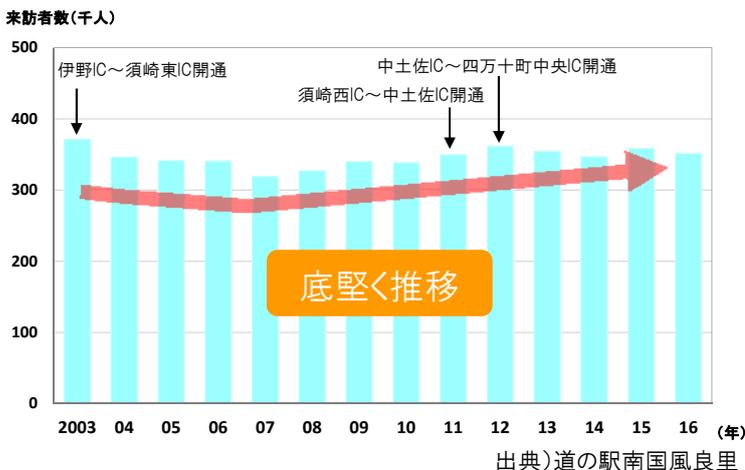
道の駅南国風良里

高知自動車道が県外観光入込客数と観光消費額の増加に寄与

山陽方面(岡山・福山等)から高速道路を通過して、お遍路や観光バス等が道の駅を来訪しており、土産店やレストランなどの**売上の6～7割は県外客**が占めています。

一時減少した来訪者数も、**高速道路の延伸もあって、底堅く推移**しています。

●道の駅「南国風良里」の来訪者数の推移



●土産店・レストランの売上



出典)道の駅南国風良里ヒアリング結果より作成

南国ICで降りて道の駅を利用されるため、高速道路には寄与して頂いており、無くてはならないものです。



道の駅南国風良里

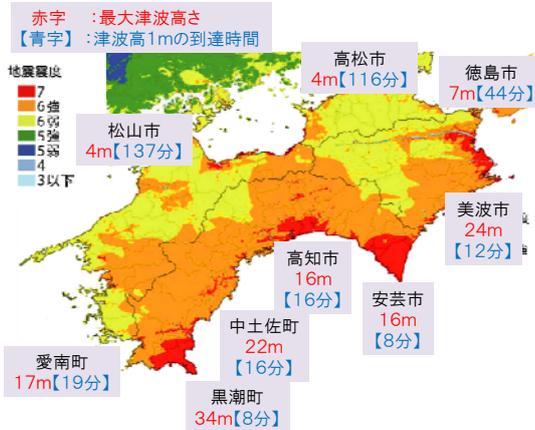


写真:道の駅南国風良里HP

南海トラフ巨大地震の発生への備え

四国では、南海トラフ地震の発生により、津波被災をはじめとする甚大な被害が危惧されており、東日本大震災の際の「くしの歯」作戦のような**迅速な道路啓開が、人命救助や緊急物資の輸送、さらには復旧・復興に大きく寄与**すると考えられています。南海トラフ地震発生の際、瀬戸内側から被害の甚大な太平洋側へアクセス可能となるよう、優先的に啓開するルート「進出ルート」を設定し、扇状に道路啓開を進行します。(四国おうぎ(扇)作戦)

●南海トラフ巨大地震における津波高、到達時間、震度分布



●四国おうぎ(扇)作戦



出典)第3回四国道路啓開等協議会「四国広域道路啓開計画概要版」を基に作成

「四国おうぎ(扇)作戦」による道路啓開

「四国おうぎ(扇)作戦」の対象となる優先的に啓開するルートとして、中央防災会議で示された「緊急輸送ルート」を勘案しつつ、瀬戸内側から被害の大きい太平洋側へ進出するために最低限必要なルートと、災害等により復旧に時間を要する場合の代替として機能するルートとして、**高知自動車道を含む下記の「進出ルート」が選定**されています。

●広域道路啓開のための「進出ルート」



ルート	路線
①徳島～阿南	県道1号等 高松自動車道、徳島自動車道、国道55号等
②高松～高知	高松自動車道、高知自動車道、国道32号等
③松山～高知	国道33号、国道197号、国道440号等
④松山～宇和島	松山自動車道 国道56号等
⑤宇和島～四万十町	国道320号、国道381号、国道441号等
⑥高知～室戸～阿南	国道55号等
⑦高知～須崎～四万十町	国道56号等
⑧宇和島～宿毛～四万十町	国道56号等

出典)第3回四国道路啓開等協議会「四国広域道路啓開計画概要版」を基に作成

●自衛隊との共同訓練

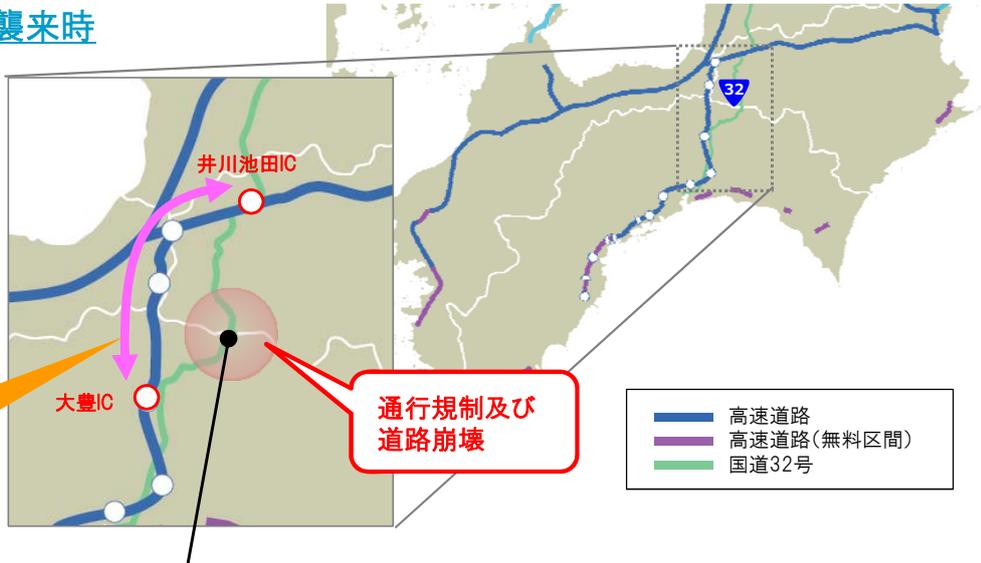


段差擦り付け走行訓練(2014年 南国IC)

平成16年台風10号による道路の被害

●平成16年7月に発生した台風襲来時

平成16年7月に発生した台風10号襲来時には、法面崩壊により国道32号が通行規制となりましたが、並行する高知自動車道・徳島自動車道を無料開放し代替路とすることで、四国南北の人流・物流の断絶が免れました。



国道32号通行規制に伴い、井川池田IC～大豊IC間を無料開放

●平成16年台風10号による国道32号の被害



国道32号 高知県大豊町大久保地先での道路崩壊状況(2004.8.1)

・災害状況

- 8月1日 道路崩壊 (高知県大豊町大久保)
- 8月10日 法面崩壊 (徳島県山城町西宇字島)

・通行止め

- 8月2日 15時15分～5日22時 (78時間45分)
- 8月10日 17時30分～12日17時 (47時間30分)

高知自動車道が並行する国道の代替路としての機能を発揮

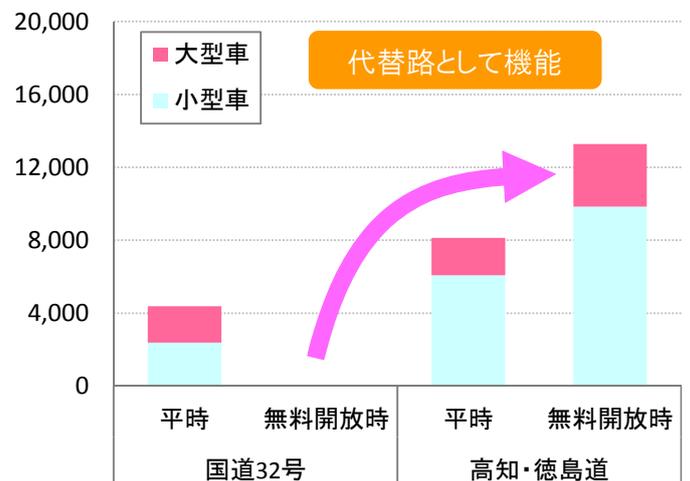
- ✓無料開放により**国道32号の交通をカバー**
- ✓経済的な負担を強いることなく、**生活や経済活動を支援**

●通行料金無料措置の実施概要

実施日時：8月2日15時～5日22時(79時間)
 8月10日22時～12日17時(43時間)

実施区間：徳島自動車道、高知自動車道
 ①井川池田～大豊 延長48.4km
 ②新宮～大豊 延長18.3km

●平時と無料開放時の交通量比較



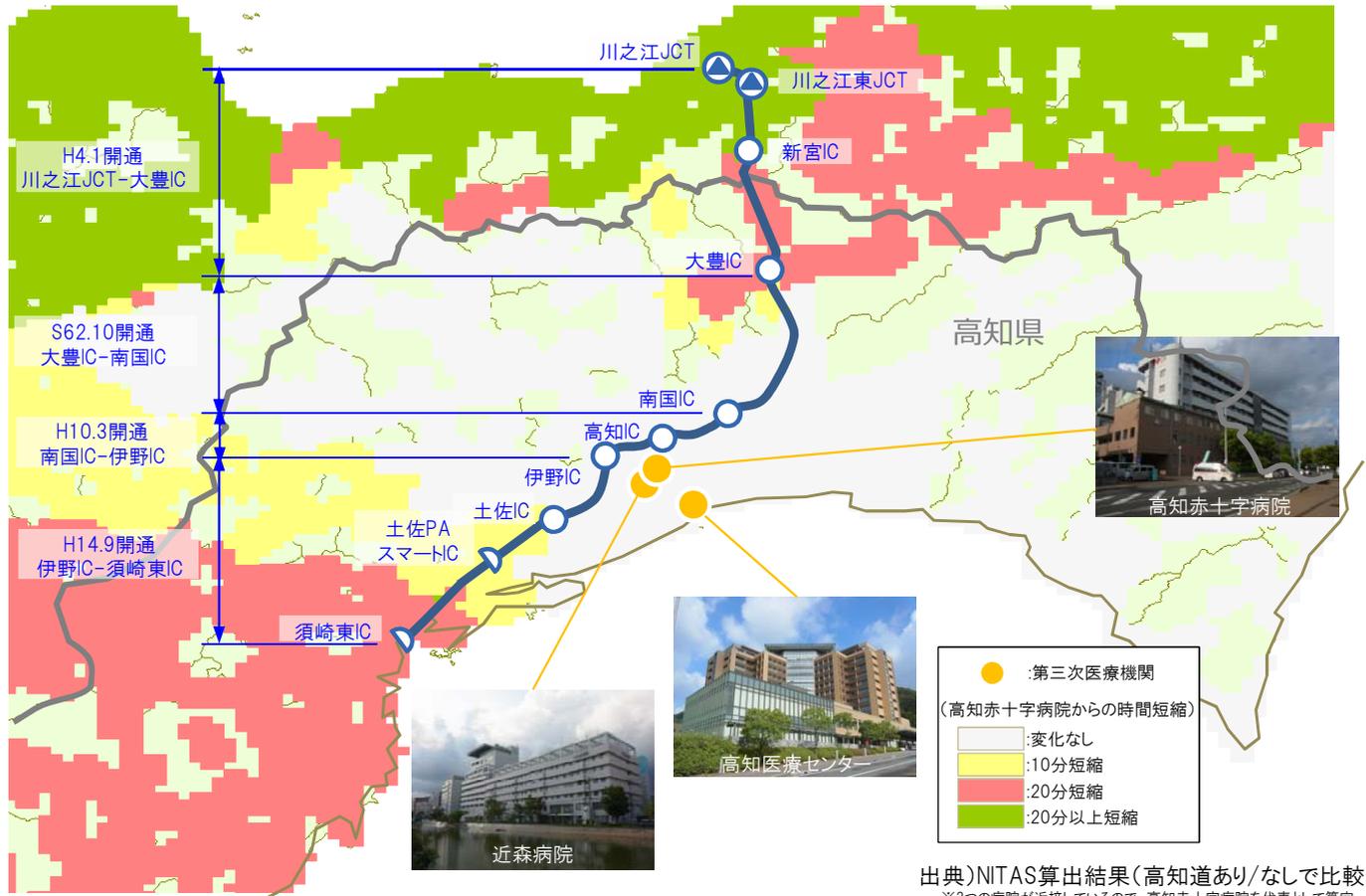
通行止めになっても一般道と高速道路のどちらかを選択できるのでありがたい

命をつなぐ高知自動車道

高知自動車道の整備で第三次医療機関への所要時間が短縮

高知自動車道の整備により、重篤な救命患者の搬送先である第三次医療機関への所要時間が、**広範囲に短縮**されました。

●第三次医療機関(高知赤十字病院)への所要時間の変化



出典)NITAS算出結果(高知道あり/なしで比較)
 ※3つの病院が近接しているため、高知赤十字病院を代表として算定

患者の負担軽減へ、高知自動車道を利用した搬送件数が増加

高知県全体での救急搬送(平成28年)は約37,000件/年で、そのうち**高知自動車道を利用した救急搬送は約2,500件/年(約7%)**にのびります。

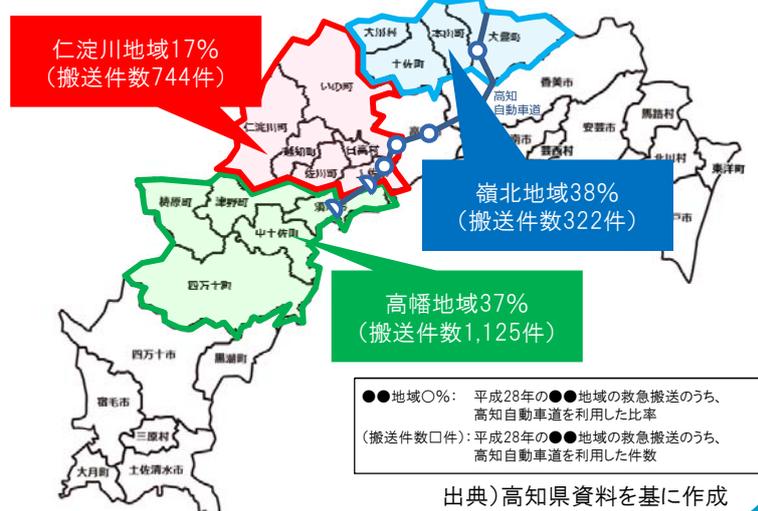
その中でも、嶺北地域では**38%**、高幡地域では**37%**、仁淀川地域では**17%**と**高知自動車道の利用率が高く**、救急搬送に役立っています。



高幡消防組合消防本部

高知市内への搬送件数が増加しています。高知市内への搬送時間が短縮し、また、一般道と比較して揺れが少なくなり、傷病者への負担が軽減されました。

●高知自動車道を利用した救急搬送の比率が高い地域





みち、ひと…未来へ。

